





岐阜刑務所視察研修

200人おり、各地域でも独自の活動を行っています。

活動内容としては、県立こども病院託児支援、保護司会との合同研修会、社会を明るくする運動として各駅でのあいさつおよびティッシュ配布の啓発活動、NPOホットライン信州主催の「こども食堂」への協賛、刑務所への視察研修などを行っています。

昭和53年から毎年行っている有明高原寮の寮生との交歓会は大切な活動で、寮生と一緒に花植、草刈りを行いその後の茶話会では、歌や演奏を通じて親睦を深めています。また、「鐘の鳴る丘愛の会」の賛助金活動にも協力をしています。

## 知っておきたい

# ネット・スマホの安全教室 ⑨

ゲームに夢中になって生じた高額課金

### 高額課金

○無料で気軽に始められるゲームが多い反面、ゲーム内でのアイテム購入によって課金が積み重なり多額になってしまふことがあります。ゲームに夢中になって、お金が減っていくことが目に見えないため、金銭感覚が麻痺する傾向があるようです。課金にクレジットカードを使用する際には注意が必要です。また、子どもが有料だと気付かずに、アイテムをクリックして、購入してしまうケースもあります。

### 対応

・多くのソーシャルゲームでは、利用者が決済方法を選べるようになっていています。クレジットカードではなく、コンビニなどで購入できるプリペイドカードを利用することで、課金の限度額をコントロールすることができます。  
・「ゲーム小遣い帳」を子どもにつ

けさせることで、目に見えないお金を見える化することも有効です。

### 長時間利用による日常生活への支障

○友達との協力や競争を通じてプレイできるネットのオンラインゲームや、スマホの無料通話アプリによる友達との夜遅くまでのメッセージ交換が原因で、朝起きるのがつらくて、遅刻や居眠りをするようになり、日常生活に支障をきたす事例が発生しています。

### 対応

・子どもの時間の使い方を保護者が気にかけてあげることが重要です。子どもと利用のルールを話し合い、保護者が利用状況を把握するように心掛けましょう。  
・利用時間を制限するアプリを利用することも一つの方法として検討しましょう。

## 青少年相談窓口をご利用ください

誰にも相談できず一人で悩んでいる児童・生徒の皆さん、子どものことで悩んでいるお父さん、お母さんなど、気軽にセンターへ電話ください。メールでの相談も受け付けています。一緒に解決の糸口を見つけましょう。

青少年センターでは、家庭での引きこもり、学校での交友関係やネットいじめ、不登校、万引きや家庭内暴力等の問題行動、自分自身のことなど、青少年に関する相談を受け付けています。

- 電話・面接での相談 ☎71・2462（月曜日～金曜日：午前9時～午後5時）
- 電子メールでの相談 ✉seishonen@city.azumino.nagano.jp（24時間受付）